

成果指標				
成果指標	要介護認定審査人数			
指標設定の考え方	要介護認定申請受付者数を成果指標とすることにより過去のデータと照合しながら介護サービス受給者数の推移を押し測れ、給付費の推移を想定する事。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	5,200人	5,300人	5,300人	0
実 績	5,321人	5,302人		0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	認定審査会が滞りなく開催され、要介護状態等区分の決定に当たり適切な判定が行えるよう、審査委員をはじめ共同設置である松前町・砥部町と連携をとりながら効率的な運営を心がけたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	認定審査会は順調に開催されており、今後も松前町・砥部町と連携をとりながら事業を進めていく必要がある。今後、さらに認定請求者は増加するものと思われ、効率的な開催を行っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題